



2022.6.6

SaloneSatellite Talk

インクルーシブデザインがもたらすポジティブな影響

持続可能で、使い勝手がよく、安全で、インクルーシブ（包括的）な空間やモノをデザインすることは、人々のニーズと場所の要求に耳を傾け、具体的に対応する能力を示唆することです。SaloneSatellite が企画したトークプログラムの主役、Paola Antonelli（パオラ・アントネッリ）と Alice Rawsthorn（アリーチェ・ロースゾーン）、Yves Béhar（イヴ・ベアール）、Franco Lisi（フランコ・リージ）と Alberto Apostoli（アルベルト・アポストーリ）、Mario Cucinella（マリオ・クチネッラ）によって語られる予定です。

未来をデザインするためには、できるだけ多くのニュアンスを取り入れるために、異なる、補完的な、あるいは対立的なビジョンが必要です。性別、年齢、国籍、文化、経済、能力など、多様性というレンズを通してこそ、真の意味でのインクルーシブデザインを生み出すことのできるのです。そして、インクルーシブという考え方を軸にデザインすると、標準的なデザインよりも優れたソリューションに出会えることが多いのです。これらの考察は、SaloneSatellite の創始者兼キュレーターである Marva Griffin Wilshire（マルヴァ・グリフィン・ウィルシャー）が発案したトークイベントの出発点でもあり、今年は若手デザイナーのためのイベントを主催するサローネサテリテ会場で開催されます。

最初のスピーカーは、スイスのデザイナーで実業家のイヴ・ベアール。世界をより良い場所にすることは誰もが夢見ることですが、ベアールにとってそれは使命であり、むしろ生きがいであり、働く理由なのです。彼の Talk は、今回の SaloneSatellite のテーマである「**Designing For Our Future Selves/Progettare per i Nostri Domani**」と密接に結びついており、彼のプロジェクトや最新の著書を通じて、個人と集団のライフスタイル、生活、慣習を変え、改善し、新しいサステナブルなバランスを達成する方法を説明する予定です。

第2回目は、MoMA の建築・デザイン部門および研究開発部門のシニアキュレーターである Paola Antonelli（パオラ・アントネッリ）と、ジャーナリスト、評論家、デザイン専門家の Alice Rawsthorn（アリーチェ・ロースゾーン）というデザイン界を代表するお二人が、過去2年間、「**Design Emergency (@design.emergency)**（デザイン・エマージェンシー）」というプラットフォーム上でライブトークシリーズを通して、デザインの驚くべき多様性とそれが緊急課題にいかにか効果的であるかを議論します。2020年4月に発足した Design Emergency は、パンデミックに対応したデザイナーの創意工夫と寛容さに触発され、現在進



行形の研究プラットフォームとして、より良い未来を築くためにデザインがどのように役立つかを探っています。その経験から生まれた本が『Design Emergency: Building a Better Future/ デザイン・エマージェンシー：より良い未来を築くために』（Phaidon 社、5月25日発売）です。今回の SaloneSatellite での講演は、「**There Will Always Be A Design Emergency**」と題し、プロジェクトの背景を明らかにするとともに、デザイナーがあらゆる分野で複雑な課題に取り組み、我々の生活をより安全、健康、楽しく、生産的、包括的にしようとする具体例を、インタビュー形式でご紹介します。ホームレス支援から気候変動対策、社会正義や人工知能の偏見排除まで、重要な問題に対して有効であることが証明されている様々なデザインソリューションを紹介します。激動の時代、様々な面で根本的な変化が必要であり、急務であるという認識が高まる中、『Design Emergency』は、デザインには私たちが望み、必要とする生活を生み出す力があることを実証しています。デザインに内在する先見性とイニシアチブを称え、未来への希望となる一冊です。

続いて、ミラノ工科大学サイエンティフィック・ディレクターの **Franco Lisi**（フランコ・リジ）と、「Cittadella del Benessere」プロジェクトの建築家 **Alberto Apostoli**（アルベルト・アポストーリ

）が登壇、ジャーナリストの **Susanna Legrenzi**（スザンナ・レグレンツィ）の司会のもと、「**ソーシャルインパクトデザイン**」というテーマで、あらゆる年齢や能力の人、環境に対して作品を通じていかにウェルビーイングを生み出すことがデザイナーの仕事であるのかを議論します。

最後に、建築家の **Mario Cucinella**（マリオ・クチネッラ）が、「**SOS School of Sustainability|Masters in Sustainable Architecture and Design**」が推進する会議の議長を務め、様々なスピーカーや#SOS9の学生（2021-2022年度）が参加します。様々な文化的背景を持ち、異なるかたちでデザインに関わる多種多様な参加者が、同じ一つの目的を持って参加します：デザイン文化を活用して、地球を変えないまでも、少なくともより健康な地球にする手助けをします。「SOS School of Sustainability Foundation」は、Mario Cucinella Architects（マリオ・クチネッラ・アーキテクト）とともに、2021-22年度に実施したプロジェクトを紹介し、新たな展開や将来のビジョンについて議論します。

また、英国の新卒デザイナーを対象としたイベント「**Green Grads**」とのパートナーシップにより、自然、サステナビリティ、未来のエコロジープロジェクトに焦点を当てたプロモーター兼デザイン評論家の **Barbara Chandler**（バルバラ・チャンドラー）が設立・キュレーションし、**Studio Tucktite**（スタジオ・タックタイト）のクリエイティブディレクター **Michael Czerwinski**（マイケル・ザウインスキ）が監修を務めます。また、雑誌『Design Exchange』の編集者であり、Flying Film Labのディレクターでもある **David Morris**（デイヴィッド・モリス）が SaloneSatellite のために特別に制作したドキュメントフィルムは、サステナビリティ



イ、バイオフィリア、よりクリーンでエコロジーな生活を促進する「グリーン」アイデアを幅広く、刺激的に紹介しています。

SALONESATELLITE ホール3 アリーナ

6月8日(水)11:30

タイトル: DESIGNING FOR OUR FUTURE SELVES/PROGETTARE PER I NOSTRI DOMANI

登壇者: *Yves Béhar* (イヴ・ベハール)

6月9日(木) 11:30

タイトル: THERE WILL ALWAYS BE A DESIGN EMERGENCY

登壇者: *パオラ・アントネッリ & アリーチェ・ロースゾーン*

6月11日(金) 11:30

タイトル: SOCIAL IMPACT DESIGN

登壇者: *Franco Lisi & Alberto Apostoli* (フランコ・リージ & アルベルト・アポストーリ)

6月12日(日)11:00

登壇者: *マリオ・クチネッラ, SOS 創設者兼社長*

Giacomo Maniscalco (ジャコモ・マニスカルコ), *SOS* ディレクター

Lorenzo Porcelli (ロレンツォ・ポルチェッリ) *MCA* 建築家・建築技術者研究開発部 | *SOS Faculty*

Elena Biazon (エレナ・ビアゾン)、シニアコンサルタント - 気候変動・サステナビリティ サービス *Ernst & Young/アーンスト・アンド・ヤング* | *SOS Faculty*

Lorenzo Gecchelin (ロレンツォ・ゲッケリン)、建築家 & プロダクトデザイナー | *SOS Faculty*

Renzo Vitale (レンツォ・ヴィターレ) : *BMW Group* サウンドクリエイティブディレクター
#SOS9 の生徒 - *Academic Year 2021-2022*

6月7日(月)

上映会「**GREEN GRADS**」

新しい才能を促進し、地球を守るための英国の特別な取り組み。

上映時間: 25 分

司会 *Barbara Chandler* (バルバラ・シャンドラー)

6月8日~12日 上映会



Salone del Mobile. Milano

Press

8日(水)10:00、9日(木)15:00、10日(金)10:00、11日(土)11:00

プレスお問い合わせ先: 山本幸 yuki@milanosalone.com

International press info: Marva Griffin-Patrizia Malfatti press@salonemilano.it